

第11回ビジネスアーカイブズの日シンポジウム

企業アーカイブズの価値再発見

企業にとって企業アーカイブズの存在意義とは何か。企業アーカイブズに蓄積された史資料やデータから企業の存在価値を引き出すにはどうすればよいか。今回のシンポジウムでは、これからの社会における企業アーカイブズの価値再発見への道を探ります。

- 開会挨拶 13:00 - 13:10
企業史料協議会会長 石原 邦夫

プログラム

- 特別講演 13:10 - 14:10

「DX時代に企業アーカイブズを経営層に どう売り込むか」

博士（情報科学）東北大学 山崎 久道 氏

DX（デジタル・トランスフォーメーション）の到来により、社会や組織・ビジネスの仕組みそのものの変革が、急速に求められつつあります。こうした時代において、企業アーカイブズの経営における価値については、どう考えればよいのでしょうか。わが国の情報ストックの在り方について長年研究し、企業アーカイブズを外部から見てきた立場から、企業アーカイブズのみなさまに対し、今後に期待する提言とエールを送ります。

- 基調講演 14:20 - 15:05

「変革期にこそアーカイブズを — 組織を強くするための自己検証と社会発信 —」

自由学園資料室 主任研究員 村上 民 氏

異業種である「学校」アーカイブズの事例を通して、企業アーカイブズと私学アーカイブズがその組織と社会に対して果たすべき役割の共通点を探り、事業体としてのアーカイブズ整備と公開の意義・価値を確認します。

- パネルディスカッション 15:15 - 16:40

「経営にとっての組織アーカイブズの価値と存在意義」

モデレータ

（公財）渋沢栄一記念財団情報資源センター企業史料プロジェクト担当・企業史料協議会理事 松崎 裕子 氏

パネリスト

自由学園資料室 主任研究員 村上 民 氏

株式会社資生堂 アート&ヘリテージマネジメント部 小泉 智佐子 氏

富士通株式会社 総務本部総務部アーカイブズG 笠原 正子 氏

オブザーバー

博士（情報科学）東北大学 山崎 久道 氏

- 閉会挨拶 16:40 - 16:45
企業史料協議会副会長 阿部 武司

総司会
野秋 誠治 氏（企業史料協議会理事）

2022

11月10日（木）

13:00 - 16:45（12:30開場）

<ハイブリッド開催>

会場 一橋大学 一橋講堂 中会議場

東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター2階

オンライン Zoomミーティング

定員 会場 50名 オンライン 80名

参加費 会員無料 一般2000円

お申込み・会場
アクセスは裏面
をご覧ください

第11回ビジネスアーカイブズの日シンポジウム

講師・パネリスト略歴

●特別講演講師

山崎 久道 博士（情報科学）東北大学

東京都世田谷区出身。東京大学経済学部経済学科卒、東北大学より博士（情報科学）の学位を授与される。株式会社三菱総合研究所で、経済分野の研究員、専門図書館のマネジャー、さらにデータベースの構築運用に関する調査・コンサルティングを多数手がける。その後、（県立）宮城大学事業構想学部教授兼総合情報センター長を経て、中央大学文学部社会情報学専攻教授（2016年定年退職）、同大学情報環境整備センター所長も務める。記録管理学会会長、（一社）情報科学技術協会会長を歴任。現在、中央大学社会科学研究所客員研究員、（一社）情報科学技術協会理事、分類／シソーラス／Indexing部会主査、専門図書館協議会顧問。著作には、『情報貧国ニッポン：課題と提言』日外アソシエーツ 2015年、他に論文多数。

●基調講演講師・パネリスト

村上 民 自由学園資料室 主任研究員

国際基督教大学大学院比較文化研究科前期課程修了。2002年の自由学園資料室発足に関わり、以来20年にわたって自由学園アーカイブズ構築および大学部でのアーカイブズ実習・研究（生活経営研究実習）を担当。自由学園100年史編纂及びデジタルアーカイブ「自由学園100年+」の公開（2021年12月）に携わる。日本アーカイブズ学会登録アーキビスト。

●パネリスト

小泉 智佐子 株式会社資生堂 アート&ヘリテージマネジメント部

2012年、資生堂入社。資生堂企業資料館のアーカイブ業務を担当。企業資料の収集・収蔵管理、デジタル化、社員教育ツール開発等のほか、現在はGlobal Archives Database構築に従事。その他、資生堂ギャラリーにて「中村誠の資生堂」展のキュレーション、前職の東京大学大学院社会情報研究所（現・情報学環）では、産学共同によるグラフィックデザイン資料のデジタル・アーカイブ構築、「モード・オブ・ザ・ウォー」展（印刷博物館）など。

笠原 正子 富士通株式会社 総務本部総務部アーカイブズG

1986年富士通株式会社入社。ソフトウェア事業本部、ミドルウェア事業本部で大型汎用コンピュータ向けソフトウェア製品およびオープン系ソフトウェア製品（ミドルウェア製品）のマーケティング分析、ビジネス計画、販売推進のための情報発信等を担当。2006年より法務・知的財産権本部に所属、個人情報を含めた情報管理を担当。2011年7月より現職。学芸員（2021年3月より）。

●モデレータ

松崎 裕子 公益財団法人渋沢栄一記念財団情報資源センター企業史料プロジェクト担当・企業史料協議会理事

2001年名古屋大学大学院国際開発研究科博士後期課程修了、博士（学術）。国立公文書館認証アーキビスト、日本アーカイブズ学会登録アーキビスト。2004年より公益財団法人渋沢栄一記念財団情報資源センター（旧称：財団法人渋沢栄一記念財団実業史研究情報センター）企業史料プロジェクト担当、2013年よりアーカイブズ工房代表。国際アーカイブズ評議会（ICA）企業アーカイブズ部会（SBA）運営委員、企業史料協議会理事。著作に「世界のビジネス・アーカイブズ概観」（『デジタルアーカイブ・ベーシックス 5 新しい産業創造へ』勉誠出版、2021年）など。

参加申込

以下の必要事項1~4をお書きのうえ、企業史料協議会事務局メール info@baa.gr.jp 宛にお申し込みください。1 機関から複数名お申し込みの場合は、全員のご氏名・メールアドレスをお書きください。

申込必要事項 1. ご所属機関名・部署名 2. 参加者氏名 3. 連絡先メールアドレスおよび電話番号
4. 参加方法：会場またはオンラインいずれか

申込締切 **11月4日（金）** ただし会場・オンラインそれぞれ定員に達し次第締め切ります。

※ **会場アクセス** 東京メトロ半蔵門線・都営三田線・都営新宿線「神保町駅」A8・A9 出口徒歩4分／東京メトロ東西線「竹橋駅」1b 出口徒歩4分 〈地図〉 <https://www.hit-u.ac.jp/hall/accessjp.html>

※ **会場** 会議室定員の半分以下で使用します。新型コロナウイルス感染症対策へのご協力をお願いします。

※ **オンライン** 参加者へ前日までにZoomミーティングの招待メールとオンライン参加案内をお送りいたします。